



Vol. 84

2014年
3月号

Shonankamakura General Hospital

しょうなんメール

Contents

2P<職員紹介>

- ・消化器病センター 消化管内科 部長
江頭 秀人

4P<救命救急センターより>

- ・救命救急センターへ来院された曜日別および
時間帯別救急患者数の推移について

理念

「生命を安心して預けられる病院」
「健康と生活を守る病院」

ご自由にお持ちください

6P<栄養管理センターより>

- ・旬のはなし 『新玉ねぎ』と『いちご』

7P<トピックス>

- ・徳洲会グループ統一患者さま満足度アンケート調査
- ・火災訓練が行われました
- ・患者さんの声

8P<病院案内>

医師紹介

Doctor introduction

消化器病センター 消化管内科 部長

江頭 秀人
Egashira Hideto



自己紹介

今年1月から消化器病センターに赴任しました江頭 秀人（えがしらひでと）と申します。消化管（食道・胃・小腸・大腸など）を担当することになりました。

生まれは長崎県で、佐賀・福岡で育ちました。ほぼ九州から出たことがなかったのですが、地元の大学病院に就職してからは上京して癌研究会

付属病院・がん感染症センター都立駒込病院などで主に癌診療に従事してきました。湘南の地もほぼ初めてで、“湘南”という言葉の響きから連想される雰囲気、何か知らぬ期待感を持って働き始めているところです。

周囲の環境に慣れ親しむこと、落ち着いて仕事が行えることがまずの目標で、時間ができれば趣味の波乗りができたらともくろんでいるところです。

消化器病センターについて

消化器病センターは消化管グループと肝胆膵グループの2つの部門から成り、各専門医が中心となって診療にあたっています。

我々消化管グループは、現在内視鏡治療に力を入れた診療に取り組んでおります。特に、早期の癌に対する内視鏡切除によって、全例ではありませんが内視鏡で治る消化管の癌が増えてきました。当センターの特色は、様々な御病気のために内視鏡治療が難しい場合や制約を受ける場合においても、



消化器病センター 消化管内科

Gastroenterology Medicine Center

予約制です。受診をお考えの方は、お電話にてお問い合わせください。

0467-46-1717 (代表)

平日 13:00~16:00

趣味について

大学時代から始めた波乗りは、働き始めてからは封印していました。

5年前に半年間ほど体調がすぐれない時期があり、体力の低下も自覚する様になりました。規則正しい生活を試みても改善がなく、年齢的なものかとも思いましたが、体力作りを目標に再度始めてみました。

しばらくは分からなかったのですが、自然に体調が良くなっていることに気づき始めました。運動が体に及ぼす影響を初めて実感した時でした。やはり、運動はいいものですね。

以降、仕事の合間には海辺にいる時間が多くなり、ストレス発散の場となっております。

再開してからは、年齢的なものもありなかなか上手にならないのですが、やっていれば調子が良い・やらなければ体調が悪いことが分かりましたので、体調管理からも継続して行きたいと思っています。

ちなみに、今現在は着任して間もないため、一時休止中です。



他の診療科の専門医の先生方との連携で可及的に治療への導入が可能であるところです。これは、他の癌専門病院においてさえ難しいことが多く、実際に癌専門病院から移ってきた私も実感している次第です。

現在、食道をはじめ胃・大腸の早期癌に対して内視鏡切除を行い、外科手術を回避できる様に努めております。

内視鏡的粘膜下層剥離術 (Endoscopic submucosal dissection: ESD) は、これまで外科手術を行っていた早期癌に対して内視鏡的に切除を行う手技で、外科手術と比較して術後の生活の質 (Quality of life: QOL) が損なわれ

ることの少ない手法です。多くの場合において、術前と変わらぬ生活が術後も可能となることから、有用な治療法として確立してきました。治療に際しては、術前の精密検査と1週間前後の治療入院期間が必要となります。

全ての癌で行えるというわけには行きませんので、癌でお悩みの方は一度当センターの外来を受診して御相談頂けたらと思います。

一日も早く、この地で医療に貢献できる様、微力ながら尽力していく所存です。どうぞ宜しく御願い致します。

救命救急センターへ来院された曜日別および時間帯別救急患者数の推移について

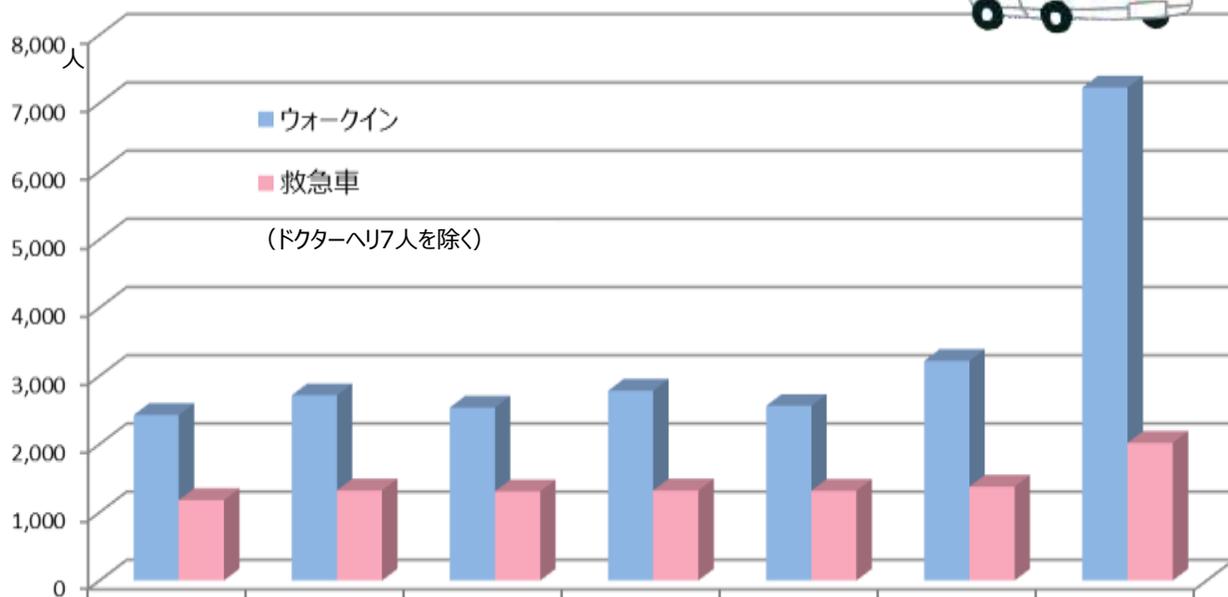
しょうなんメールvol.82 2014年1月号では、湘南鎌倉総合病院救命救急センターを通して入院された救急患者さんが、どのような疾患系統が原因で入院されているのかについて救命救急センター顧問の福田充宏医師と、同センター長の大淵尚医師にコメントをいただきました。

今回は当院が2013年4月に神奈川県指定を受け、救命救急センターとして運用開始になってから12月までの9か月間に、救急車で搬入された患者さん、および救急車を利用されていない（以下“ウォークイン”と記載）救急患者さんが何曜日の、どの時間帯に来院されていたのかについてお示します。

昨年4月から12月までに当院救命救急センターに来院された全救急患者さん33,289人のうち、ウォークインの救急患者さんが23,455人（全体の約70%）、救急車で搬入された患者さんが9,834人（全体の約30%）、ドクターヘリで搬入された患者さんが7人となっています。

図1は、来院された全救急患者さんを曜日別に分けたものです。平日の月曜日から金曜日、および土曜日については、若干の違いはありますが、おおむね平均的に同数の患者さんが来院されています。一日あたりのウォークインの患者さんは65人～87人、救急車で搬入された患者さんは33人～37人です。一方、日曜日・祝日については、ウォークインの救急患者さんは平日のおおよそ倍の144人が来院され、救急車で搬入された患者さんは平日より若干多い40人となっているのがおわかりになると思います。

図1 曜日別救急患者数 (2013年4月～12月) n = 33,282



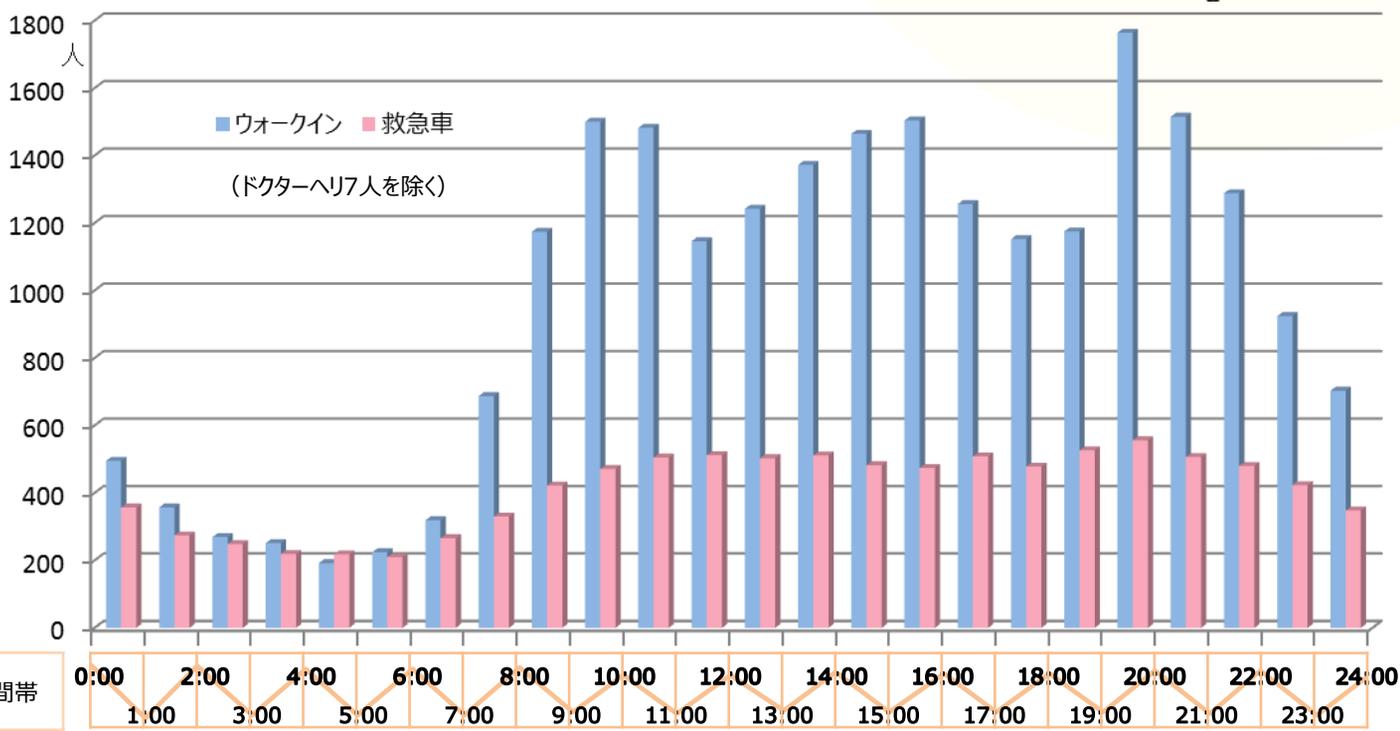
曜日 (日数)	月 (32)	火 (40)	水 (39)	木 (39)	金 (38)	土 (37)	日・祝日 (50)
ウォークイン	2,421	2,714	2,535	2,780	2,559	3,220	7,226
一日あたりの平均患者数 (のべ日数275日)	75.7	67.9	65.0	71.3	67.3	87.0	144.5
救急車	1,179	1,321	1,306	1,319	1,316	1,375	2,018
一日あたりの平均患者数 (のべ日数275日)	36.8	33.0	33.5	33.8	34.6	37.2	40.4

図2は、0時から1時間毎の時間帯別に分けて来院救急患者数を示したものです。全体的には深夜帯から早朝の0時台～7時台までは少なく、日勤帯から準夜帯に入る8時台～16時台、および準夜帯の17時台～23時台はまんべんなく、多数のウォークインの救急患者さんが来院され、かつ救急車で搬入される患者さんも深夜帯に比べ多いことがわかります。

救急車で搬入された救急患者さんは1時台～6時台は、一日1時間あたり平均1人未満で、19時台は平均2人搬送されています。一方、ウォークインの救急患者さんは救急車搬入患者さんと同様2時台～5時台が1人未満で、9時台～22時台までは、平均で4.2人～6.4人が来院されています。



図2 時間帯別救急患者数 (2013年4月～12月) n=33,282



時間帯	0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00
ウォークイン	495	357	269	251	192	224	319	687	1,174	1,500	1,482	1,146	1,242	1,372	1,464	1,504	1,256	1,152	1,175	1,764	1,515	1,288	924	703	
一日あたりの平均患者数 (のべ日数275日)	1.8	1.3	0.97	0.91	0.69	0.81	1.2	1.8	4.3	5.5	5.4	4.2	4.5	5.0	5.3	5.5	4.6	4.2	4.3	6.4	5.5	4.7	3.7	2.6	
救急車	357	274	248	219	218	210	266	330	422	471	505	512	503	511	482	474	508	478	526	556	506	480	423	348	
一日あたりの平均患者数 (のべ日数275日)	1.3	0.99	0.9	0.8	0.8	0.8	0.96	1.2	1.5	1.7	1.8	1.9	1.8	1.9	1.8	1.7	1.8	1.7	1.9	2.0	1.8	1.7	1.5	1.3	

今後も24時間365日、曜日別および時間帯を問わず、救急車搬入患者さんおよびウォークインの救急患者さんを受け入れることができる診療体制を維持し、より一層患者さんおよびご家族の方に満足していただけるよう、職員が一丸となって充実を図ってまいりたいと思っておりますので、皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

旬のはなし

『新玉ねぎ』と

『いちご』

3月に入ると暖かい日も続いてきます。
旬を迎える食材も多くあります。



栄養管理センター
管理栄養士 滝澤 美喜子

《新玉ねぎ》

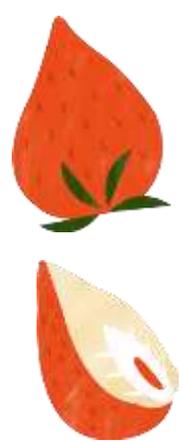
普通の玉ねぎに関しては全国で栽培され、乾燥させてから出荷しているため保存性も高いので旬は特に無く、通年いい状態で手に入ります。しかし、新玉ねぎに関しては春（主に3～5月）しか手に入りません。収穫してすぐに出荷し、水分を多く含むので2～3日しか日持ちしません。柔らかくて甘味があり、生で食べるのがおすすめです。

薄くスライスして、醤油と鰹節をかけただけでも十分な1品料理オニオンライスです。実が柔らかいのでまろごと煮たり、また、フライや天ぷらにしても美味しくいただけます。火を通す際は短時間にしましょう。

疲労回復などに効果があるビタミンB1を助ける働きをする硫化アリルを含み、生で食べるより効果があります。高血圧症や糖尿病などの生活習慣病の予防に効果があるとされています。善玉コレステロールを増やし悪玉コレステロールを減らす、血液サラサラと呼ばれる理由はここにあります。



		エネルギー	カリウム	鉄	βカロテン	ビタミンB1	ビタミンC	食物繊維
		kcal	mg	mg	μg	mg	mg	g
たまねぎ(生)	100g中	37	150	0.2	1	0.03	8	1.6
たまねぎ(水さらし)	100g中	26	88	0.2	1	0.03	5	1.5
たまねぎ(ゆで)	100g中	31	110	0.2	1	0.03	5	1.7



《いちご》

需要が増えて店頭に出回るのは12月後半から2月にかけてですが、本来の旬は3～4月です。

栄養価としてはビタミンCが多く、6～7粒食べれば1日の必要量を摂取することができます。妊娠初期に積極的に摂取することを推奨されて注目されている葉酸も多く含まれています。さらに、血糖値の上昇を抑える食物繊維も多く含まれていて、エネルギーは果物の中では低めなので生活習慣病予防にもおすすめ食材です。

		エネルギー	カリウム	鉄	βカロテン	ビタミンB1	ビタミンC	食物繊維
		kcal	mg	mg	μg	mg	mg	g
いちご	100g中	34	170	0.3	18	0.03	62	1.4
パナナ	100g中	86	360	0.3	56	0.05	16	1.1
りんご	100g中	54	110	0	21	0.02	4	1.5

旬の食材は、旬の時期に摂取すると栄養価も高いです。
旬の食材をとり入れた献立で新しい年度を迎えましょう。



第12回 徳洲会グループ統一 患者さま満足度アンケート調査

「グループ統一患者さま満足度アンケート調査」を行いました。

入院患者さん 平成26年2月10日(月) ~ 2月22日(土)

外来患者さん 平成26年2月17日(月) ~ 2月22日(土)



入院



外来

上記期間に「グループ統一患者さま満足度アンケート調査」を行いました。皆様には配布・回収等でご迷惑をおかけ致しました。

期間中はたくさんのアンケートを頂くことができました。ありがとうございました。

集計結果は1階「患者さんの声」コーナーにて、改めてご報告させていただきます。

向上委員会

火災訓練が行われました

2014年1月18日に火災訓練が行われました。今回は病棟の11階・12階・13階で訓練が行われました。

病棟で火災が発生したことを想定し、火災報知器が鳴り始めてから、現場の発見・報告、初期消火や避難・誘導などについて消防署の協力の下に訓練が行われました。訓練の結果についても合同で検討を行いました。



患者さんの声

1階エスカレーター正面にご意見の投書箱があります。今回、寄せられたご意見をご紹介します。また投書箱後ろの掲示板にて改善や投書の回答をさせていただきます。ご興味のある方は、掲示板をご覧ください。

ご意見

「薬の待ち時間が長すぎます(常に)。せめて30分以内にならないのでしょうか。院外処方を増やすことはできませんか?」

「薬の待ち時間の短縮はできないか。会計&薬の待ち時間が2時間~薬の院外処方ウェイト高めることはできないのでしょうか」

「会計は早い薬は70分待ちはいかがなものかと思う。院外処方を考えてほしい」

回答

「院外処方せんのお知らせ」を掲示しました。



お待ちいただき、大変申し訳ございません。

当院では院外処方せん発行も行っております。

院外処方せんをご希望の方については、診察の際に医師へお伝え下さい。



医療法人 湘南鎌倉総合病院
沖縄徳洲会



〒247-8533
神奈川県鎌倉市岡本1370-1
Tel : 0467-46-1717(代表)
Fax : 0467-45-0190
ホームページアドレス: <http://www.shonankamakura.or.jp>

ご来院される方にシャトルバスの運行も行っております。詳しくは院内で配布のシャトルバス時刻表が、ホームページをご覧ください。

また、「しょうなんメール」のバックナンバーもホームページでご覧いただけます。

湘南鎌倉総合病院

クリック!
検索

公共交通機関でお越しの方へ

下記は運賃がかかります。ご了承ください。

大船駅より来院される方

●大船駅西口（大船観音側）

- 1番乗場 神・船32 渡内經由
「藤沢駅北口」行
公会堂前下車 神・船101・102 公会堂前經由
「城廻中村」行

- 2番乗場 神・船34 「南岡本」行

南岡本下車

●大船駅東口交通広場ターミナル
（湘南モノレール駅下バスターミナル）

- 2番乗場 江・藤沢[弥]大船
南岡本下車 武田薬品前～弥勒寺經由
「藤沢駅」行
江・南岡本經由 「四季の杜」行



藤沢駅より来院される方

●藤沢駅北口（さいか屋・ビックカメラ側）

- 4番乗場 神・船32 柄沢橋・渡内經由
「大船駅西口」行
公会堂前下車

- 9番乗場 江・藤沢[弥]大船
南岡本下車 弥勒寺～武田薬品前經由
「大船駅」行

●藤沢駅南口（小田急デパート側）

- 8番乗場 江・5301 アズビル前～
武田薬品前經由
湘南鎌倉総合病院下車 「湘南鎌倉総合病院」行



駐車場利用 について

湘南鎌倉総合病院駐車場

	地上	地下
営業時間	0:00～24:00	7:00～21:00
台数	28台	231台
	患者	一般・面会
料金体系	最初2時間 200円 以降1時間 100円	1時間 200円

※外来患者さんは診察券が無いと一般料金となります

コーナン鎌倉モール
1時間 200円 当日最大1000円 お買い上げで180分無料